



# 潮寿荘 だより

令和元年11月16日発行  
発行：特別養護老人ホーム  
潮 寿 荘  
記事：11月担当潮寿荘職員  
編集：潮寿荘だより編集委員  
題字：小山内テルエ(82歳)

## 運動会

十月一日、天候にも恵まれたこの日の午後、潮寿荘ホールにて年に一度の運動会が開催されました。いつもは和やかな皆さまが、紅白に分かれ一列に並び向かい合うと、その瞳にはメラメラと闘志の炎が映し出されておりました。特別参加の日新小学校の生徒さんを交え司会進行の石黒介護士(例年はマリオの服ですが体重増加のため着られず、下着のような服装)のホールに響き渡る声で競技開始です。『ボール渡し』『バランスボール相撲(初ゲーム)』『玉入れ』『ダンシングモンキー(たぶん今年1回つきり)』盛り上がる『車イスリレー』最高に盛り上がる『人間ばん

馬』と白熱した戦いと声が枯れる程の声援で大盛況でした。バランス相撲では、職員対小学生で勝負。生徒さんの勢いに職員はタジタジでした。玉入れでは真剣な眼差しで玉を入れていました。阡子さん流石です。上手でしたよ。輪になってダンシングモンキーの音楽が止まるまでモンキーを手渡しするゲームでは幸子さん残念、猿の人形が落ちてしまいアウト 来年頑張りましょう。(思ったよ



白組

### ボール渡し(この競技は白組の勝利!!)

赤組



り盛り上がり来たる年やるかどうか...愛着のある車イスリレーでは颯爽と車イスを操り独走だったタヨ子さん、かつこ良かったです。日新小生徒さんによる『よさこいソーラン』の演舞では皆さん満面の笑顔で手拍子さ

運動会後のおやつ(かき氷とポップコーン)

日新小学校の生徒さんによる  
よさこいソーラン



れておりました。時間を忘れ、年齢を忘れ、童心に戻り楽しまれている様子が胸が熱くなりました。又、参加された職員の皆さま誠にお疲れ様でした。  
(お酒が入るとめっちゃくちゃテンションが上がる介護士・中坂)



# 潮寿荘と

## 潮寿荘の食事が 好きな台湾ガール

去年の6月、台湾の台北で施設長と採用面接をしている時に初めて潮寿荘だよりをいただいて、家に帰ったあと何度も読んでいました。(特にイベントの写真と職員のご紹介)。

その時の私は、潮寿荘だよりを通して潮寿荘の事をイメージしながら函館に行くいろいろな準備をしていました。潮寿荘だより11月号の初登場に心から嬉しいと思いました。

台湾から来て潮寿荘で介護の仕事をするのが人生の転機と言っても過言ではないと思いました。私が台湾でしていた仕事はナーシングホームでの介護員ですが、(ナーシングホームとは介護だけでなく看護師を中心とした医療提供や看取りを行う老人ホームの事です。)潮寿荘の入居者が毎日こんなに美しく広い環境で暮らしていることにうらやましいと思いました。特に潮寿荘の栄養満点の食事は入居者と職員たちの幸せだと思いました。私は潮寿荘で長い時間仕事をしたいので、今年の4月に『函館臨床福祉専門学校』の1年生になりました。11月1日に三回目の介護実習がやっと終わりましたので潮寿荘に戻ってアルバイトができて良か

ったなあーと思います。やっぱり潮寿荘の皆が好きです。入居者の毎日の笑顔を守るために介護の知識と技術をしっかりと勉強したいと思っています。失敗した事があっても諦めずに七転八起  
(増税前に買った質が良い布団乾燥機で冬の寒さに対応しようと思っっている介護士・姚)  
※この記事は姚さんが書いた文章そのままです。



### 12月の予定

2日鍋会食(みそちゃんこ) 16日鍋会食  
3日誕生会 21日クリスマス会  
11日外部講師 花クラブ 25日外部講師 花クラブ  
特別喫茶(いもの塩煮) 26日餅つき  
14日OTリハビリ



### ウメさんから 聞こえた 立目は?



看護師の平野です。軟膏処置や点眼処置をしている入居者さんの一人、ウメさんを紹介します。普段から穏やかで優しい笑顔のウメさんは、手浴(手を洗う事)中「腕は疲れませんか。お湯は熱くありませんか?」と聞くといつも静かにうなずいて優しい口調で「ないよ」と答えてくれます。そんなウメさんですが、意外と激しい部分もお持ちの方で、実は

### 褒め 上手な 吟子さん



今回紹介するのは、8月に入居された『吟子』さんです。素晴らしいお名前ですよね。『吟』とは詩を吟う等の意味があるそうです。実家は呉服屋さんを営んでいたようで、すごく上品な方です。若い頃は学校の先生をしていて、教えていた科目は何でもだそう。そんな吟子さんは「すごくいい男だね、綺麗だね」と僕

毎日の手浴中必ずと言ってよい程『ぶ〜……くるるる……』とお腹がけたましく鳴るのです。激しく動くお腹の音にウメさん本人は少し恥ずかしそうにします。でも大爆笑でそんな笑顔に癒される私です。「健康な証拠ですね! 元気な証拠ですね!」と話すと「んだねえ」と言っただけでまた笑う。そんなウメさんの笑顔が見たくて今日もせっせとウメさんの手浴に向かう医務一同です。

(私生活は野球に没頭している看護主任・平野)

をすごく褒めてくれます。吟子さんの事も褒め返すと照れたりする、そんなやり取り楽しい今日この頃です。つい先日、ふと24才の男性職員と吟子さんの会話が聞こえてきたので聞いてみると……「すごくいい男だね、若いねえ素晴らしい」と言っていました。他の男性職員にも言っていたのです。ちょっとジェラシーを感じました。若さには勝てませんが、皆に元気をくれる吟子さんが僕は大好きです。  
(施設に来る子鹿によしのりと名付け餌をあげてたが、もう鹿は来ない。優しさが報われない介護士・孝樹)